

産婦人科×美容外科を融合したクリニックで 最先端の技術を駆使した究極の女性美を

最新の技術と再生医療を用い、女性器のアンチエイジングや形成を叶える婦人科・女性器形成専門の「GINZA AYUMI CLINIC」。当院は再生医療技術を用いた卵巣や子宮のアンチエイジング施術を行える、日本唯一の厚生労働省認可のクリニックだ。院長・増田あゆみ氏は女性器形成の第一人者でもある。同院が目指す産婦人科×美容外科の医療とは一。

TEXT BY Reina Hirai PHOTOGRAPHS BY Masahiko Kurokawa DIRECTION BY Shigeki Komine

#Episode 002 いま欲しいモノ、知っておくべきトピックス。ビジネスパーソン向けプロダクトニュース。



すべての女性の笑顔のために、内外から美しく

「女性の一生を輝かせたい」。産婦人科医時代、美容の力で女性が輝く姿を目の当たりにし、増田氏はそれが自らの使命だと気づいた。女性器の外観を整えることを目的としたクリニックでは産婦人科医としての知識や技術を活かし、女性の一生に寄り添ったサポートを実施している。「美容外科の手術も、婦人科の知識と技術があれば、よりスムーズに行うことができます。婦人科形成はまだ日本においてツチな分野です。この業界には産婦人科を経験された先生が少ないので、女性器のオペをしても中途半端に終わってしまったら、トラブルが起こってしまったりという現状があります。その中でも当院は、産婦人科と美容外科の融合が叶う日本でも数少ないクリニックだと考えています」。

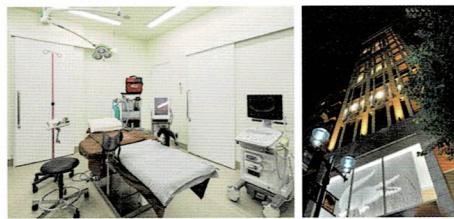
増田氏は、婦人科形成医としての役割を「命の現場で働く医師からのバトンタッチ」と表現する。「女性器は出産により、裂けたり見た目が崩れてしまったりなど、大きなダメージを受けることがあります。また子宮脱や頻尿、尿漏れ、子宮下垂などの女性器周りの疾患は、保険診療では「機能」を取り戻すことしかできない場合がほとんど。女性器周りの若返りや見た目を整える医療は対象外なのです。命の現場で頑張っている医師からのバトンタッチを受け、今度は私が機能と見た目の両方を整え、女性に自信を取り戻してもらおう。一人でも多くの女性が輝けるようサポートしてまいります」。女性器周りの悩みは人に相談しづらい内容であるために、一人で抱え込んでいる女性も少なくない。だからこそ技術を継承し、婦人科形成をより身近なものにすることが求められているのだ。



INTERVIEW

GINZA AYUMI CLINIC 院長 増田 あゆみ

学生時代、ボランティア活動に従事するうちに医師を志す。急性期医療を中心に幅広く研修・習得。その後、産婦人科に勤務。数多くの経験から女性に対する総合的なケアを意識するようになり、多くの手術症例を経験後、美容外科の道へ。後に GINZA AYUMI CLINIC を開院。



GINZA AYUMI CLINIC 院長

増田 あゆみ

メディカルフェムテックで
日本中の女性を笑顔に。

女性器周りの悩みは、気軽に他者へ相談しづらい悩みであるがゆえに、一人で抱え込み、我慢してしまう女性も少なくない。GINZA AYUMI CLINIC の増田あゆみ院長は、産婦人科医時代に培った技術と知識、そして女性の人生すべてに寄り添った親身なカウンセリングで、悩みを抱えた女性たちをサポートし続けている。増田氏の生きがい。それは「女性の輝く笑顔」だ。

TEXT BY Reina Hirai PHOTOGRAPHS BY Masahiko Kurokawa DIRECTION BY Ayumi Sekine

Qualitas
Beauty



Ayumi

Masuda

AYUMI MASUDA

学生時代、ボランティア活動に従事するうちに医師を志す。急性期医療を中心に幅広い研修・習得。その後、産婦人科に勤務。数多くの経験から女性に対する総合的なケアを意識するようになり、多くの手術症例を経験後、美容外科の道へ。後にGINZA AYUMI CLINICを開院。

無限大の可能性を持つ女性たちへ。

— GINZA AYUMI CLINICの特
徴や強みを教えてください。

当院では、世界に誇る日本の産婦人科および美容外科の両方の技術を用いた手術を行っております。また厚生労働省認可のもと、安心・安全な最新再生医療を駆使することにより、保険診療では解決しづらい女性特有の悩みをサポート。日本において、女性器周りに自己幹細胞を移植する施術を行えるのは、現時点で当院のみです。私たちは、このような女性の悩みを解決する医療技術、および最新の医療技術を使った商品開発で女性をサポートしていく試みをメデカルフェムテックと呼んでいます。今までになかったメデカルフェムテックという分野が確立すればするほど、通常のフェムテックレベルでは解決できなかった女性の悩みも、今後さらに解決可能なものになってくると確信しています。

— クリニックを開院された経緯についてお聞かせください。

学生時代、「人の役に立てることが一つでもあるならば」という想いで始めたボランティア活動がきっかけとなり、医師を志すようになりました。産婦人科医時代は、死期が迫った患者さんがいる病棟で勤務しておりました。そんなある日、ひとりの女性患者様へリリアを購入し塗って差し上げたところ、バツと

顔が明るくなり、まるで消え入りそうな炎が生き返り、太陽のように生命が輝いて見えたのです。美容の力でこころが生き返った女性を目の当たりにし、「医療の力で女性を生きかし、輝かせたい」ということが私の信念だと気づかれました。その後、産婦人科医としてのスキルや知識を活かして「自分ができることがあるならば」との想いで美容医療の業界へ。修業を積んだのち、女性の一生に寄り添う「GINZA AYUMI CLINIC」を開院いたしました。

— 婦人科医療にかける想いについてお聞かせください。

「目の前の女性を幸せにする」「人生を輝かせる」。常にこの想いを胸に、婦人科医療に携わっております。婦人科医療の役割は「病気を治す」ことだけではなく、病気を治す、治す瞬間だけでなく、「その女性の人生全体をオペレーションしているんだ」という気持ちを、いつも忘れずに持ち続けています。カウンセリングに来られる女性は、ただ「綺麗になりたい」という想いだけではなく「綺麗になつてこんなことをしたい」「綺麗になつてこんな自分になりたい」といった想いを必ず持たれているのです。目の前の女性がオペに望んでいることは何なのか、どんな自分になりたいのかを知ったうえで行うかと、何も知らずに行うかでは、結果も患者様の満足度も全く異なってきます。今、私の目の

前にいる患者様の人生は一度きり。そんな大切な人生の一部に感謝させていただけのありがたさ、感謝を忘れずに、全力で女性を輝かせるお手伝いをさせていただきます。

— ご多忙中、仕事とプライベートを両立させる秘訣はありますか？

実は、プライベートの時間はほとんど作っていないんです(笑) 女性の笑顔が、私自身の一番の喜びなので、他にやりたいことや娯楽もななくて、プライベートの時間を作ってしまうと、逆に仕事や患者様のことばかり考えてしまうので、このスタイルが私には合っているのかもしれません。

— 最後に、クリニックの今後の展望についてお聞かせください。

私の理念に賛同してくださる医師を増やし、全国どこにいても質の高い治療が受けられる環境を整えることが、今後の目標の一つですね。後進の育成にも力を入れたいと考えています。女性の笑顔は未来を指し示す輝きであり、そのパワーには無限の可能性があります。多くの女性が安心・安全に力強く輝ける世界にすることは、日本経済の発展にも繋がるはずです。ひとりでも多くの女性が笑顔で過ごせるよう、美容と医療の分野からサポートを続けて参りたいと思っています。

GINZA AYUMI CLINIC

GINZA AYUMI CLINIC 院長
増田 あゆみ

Qualitas
beauty